

国道1号清水立体尾羽第2高架橋事故調査委員会(第1回)

開催結果概要

議事概要

事務局から工事概要、今回の事故概要の説明を行ったのち、意見交換が行われた。

今後、工事事故の原因を明らかにするために、以下の内容について確認すべきとの意見が委員から出された。

○橋桁の送り出し、横取り、降下に関する施工方法

○事故発生当日の施工計画と実作業内容について

○架設時の安全対策の確認

など

工事概要、事故概要

事業概要（一般国道1号 静清バイパス）

- 一般国道1号静清バイパスは、静岡県静岡市清水区興津東町から同市駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、交通事故の削減、災害に強い道路機能の確保、地域企業の産業活動支援を目的に計画された道路である。
- 並行する国道1号現道には、主要渋滞箇所や事故危険区間の存在などの課題があり、本事業は課題解決のために別線バイパスを整備することで、速達性・定時性の改善、安全性の向上、リダンダンシーの確保等の効果を見込んでいる。

静 清 バ イ パ ス の 全 体 位 置 図



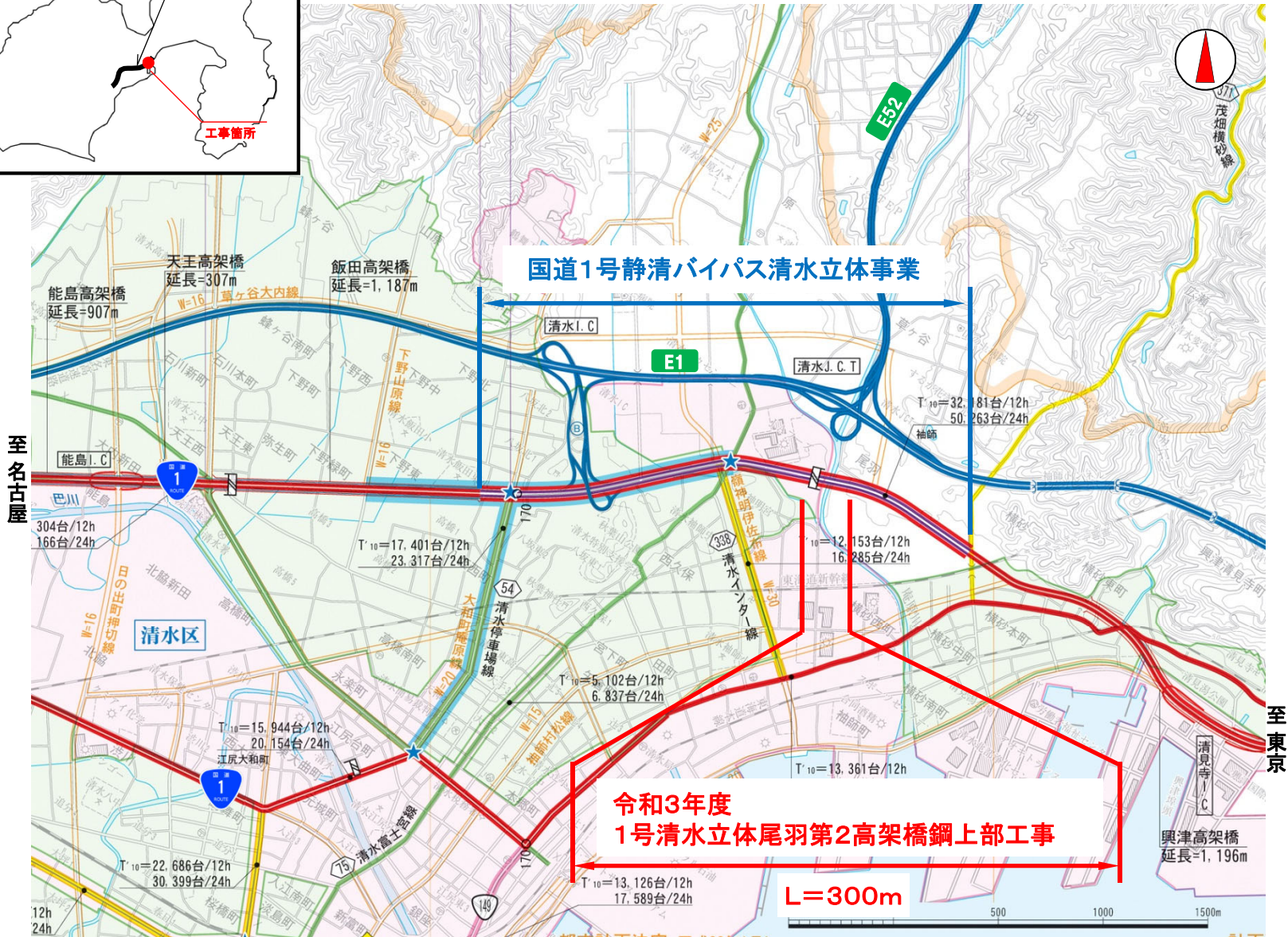
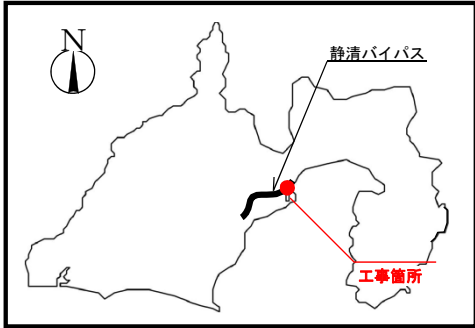
■静清バイパス(庵原交差点付近)



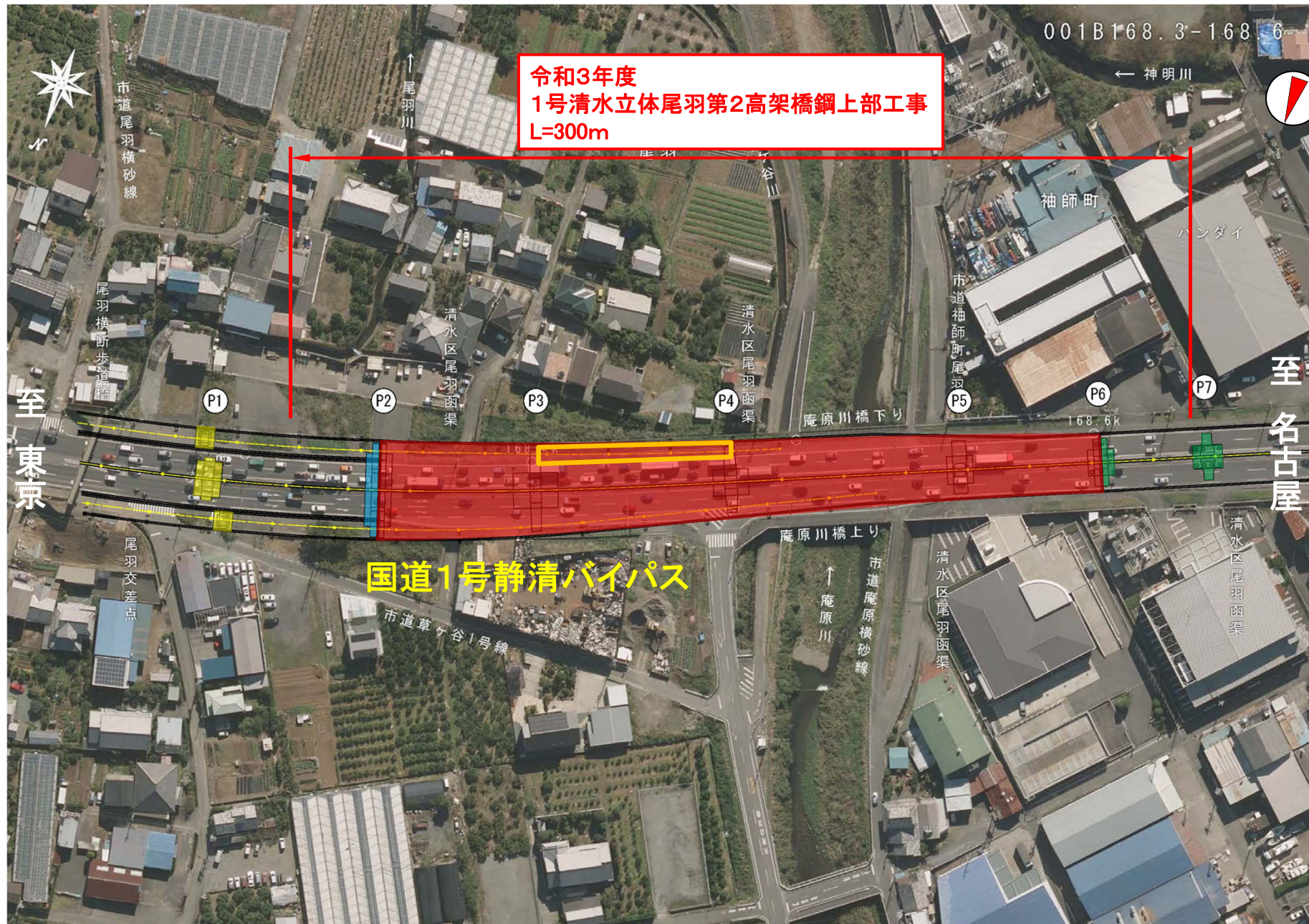
凡 例	
立体化 事業中	完成4車 間通行
■	静清バイパス
—	高速道路
—	一般国道
—	主要地方道等
—	JR新幹線
—	JR在来線
+++++	私鉄
●	主要渋滞箇所
—	主要渋滞区間
■	事故危険箇所
■	人口集中地区(DID)
○	IC(赤: 主要渋滞箇所)

位置図

位置図



航空写真

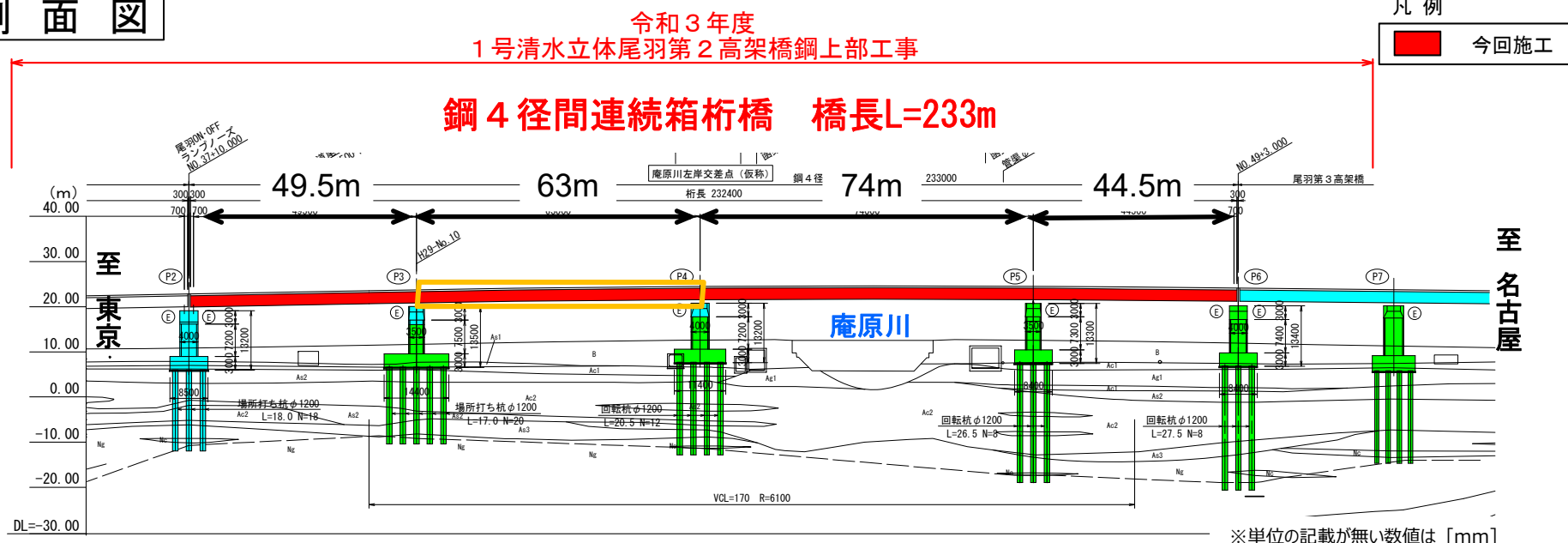


工事概要

- 工事名 令和3年度 1号清水立体尾羽第2高架橋鋼上部工事
- 工期 令和3年9月10日～令和6年2月22日
- 契約額 ￥2,483,250,000.-
- 請負業者 名村・日塔特定建設工事共同企業体
((株) 名村造船所、日本鉄塔工業 (株))
- 工事概要 工事延長：L=300m
鋼4径間連続箱桁橋 L=233m
鋼重：W=2,048t
工場製作工 1式、鋼橋架設工 1式、仮設工 1式

- 架設工法 トラッククレーンベント架設 (P2ーP3、P5ーP6)
送り出し架設 (P3ーP4、P4ーP5)

側面図

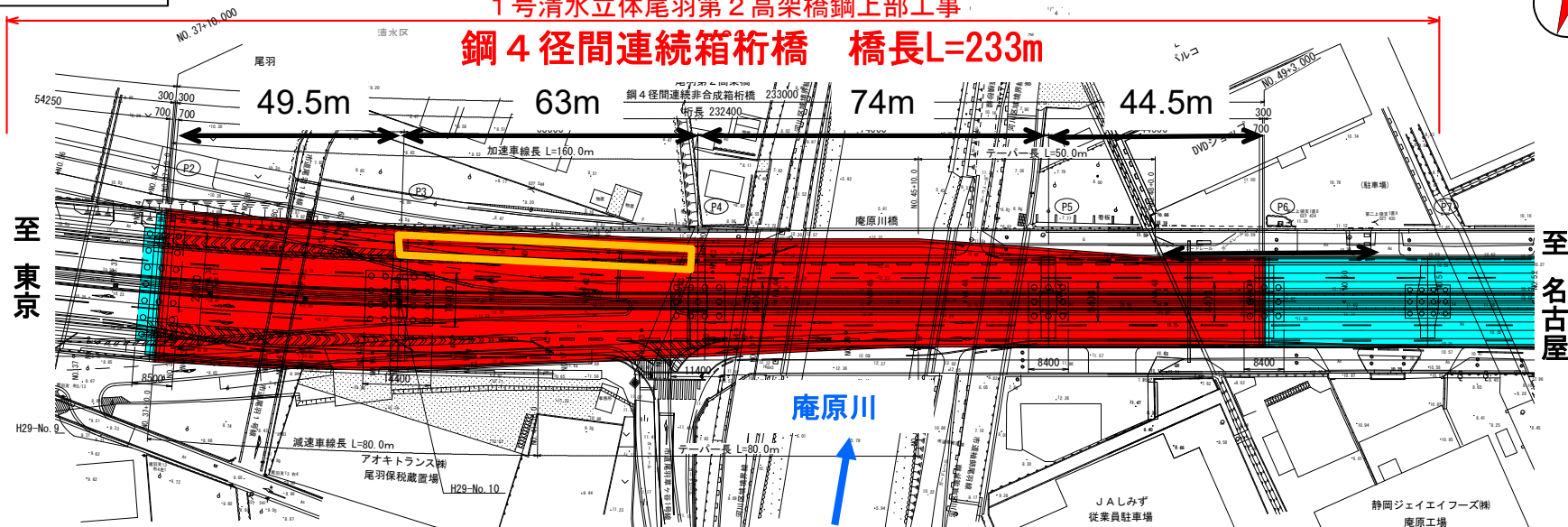


平面図、側面図

平面图

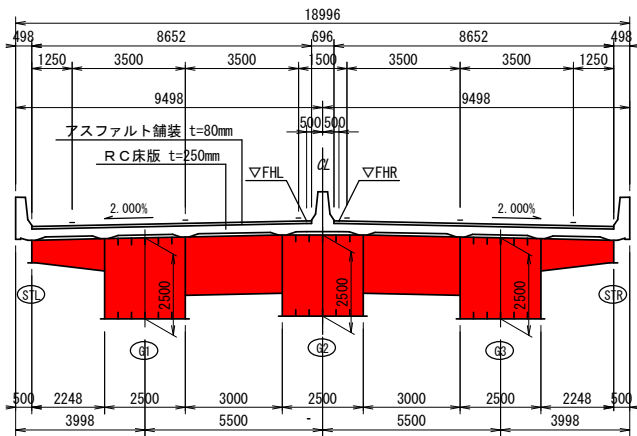
令和3年度
1号清水立体尾羽第2高架橋鋼上部工事

鋼 4 径間連続箱桁橋 橋長L=233m

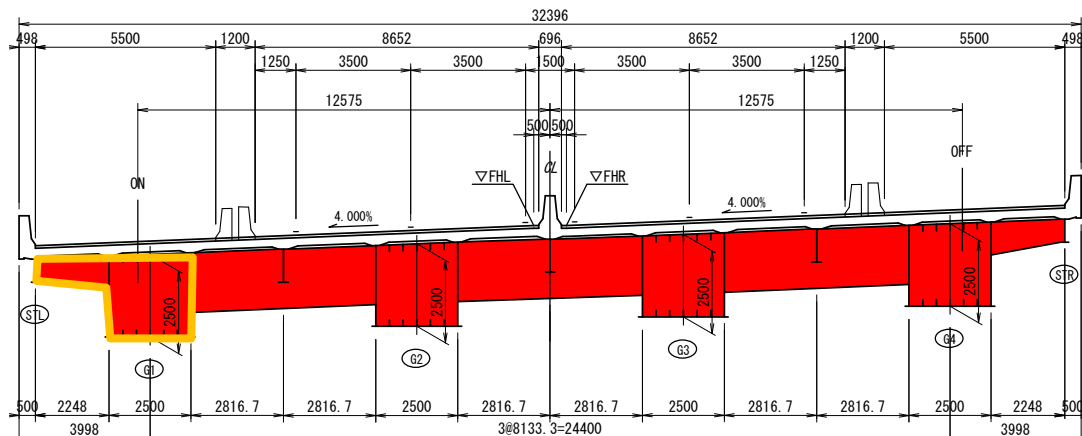


標準断面図

標準部



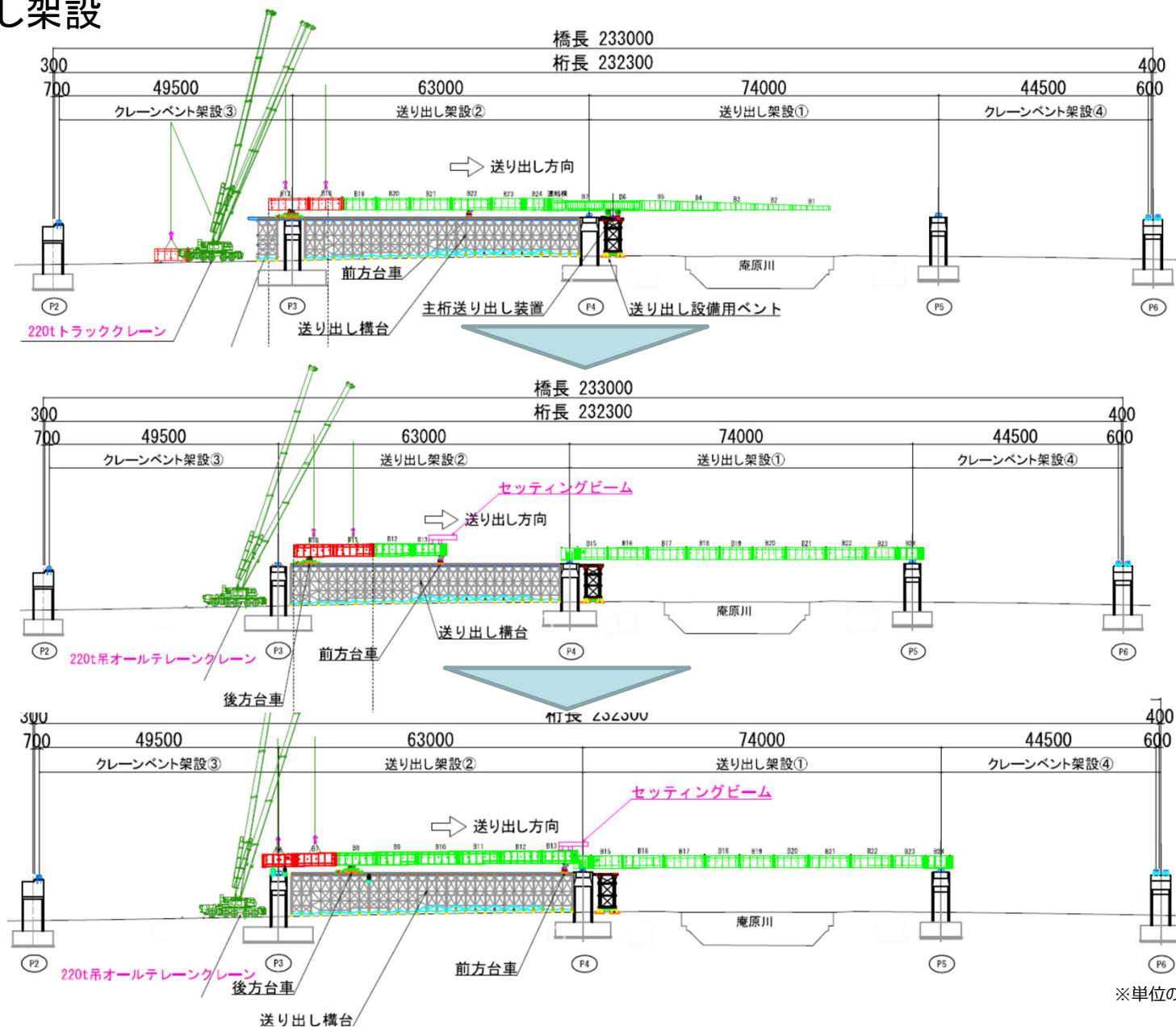
ランプノーズ部



※単位の記載が無い数値は [mm]

架設要領図①(送り出し架設)

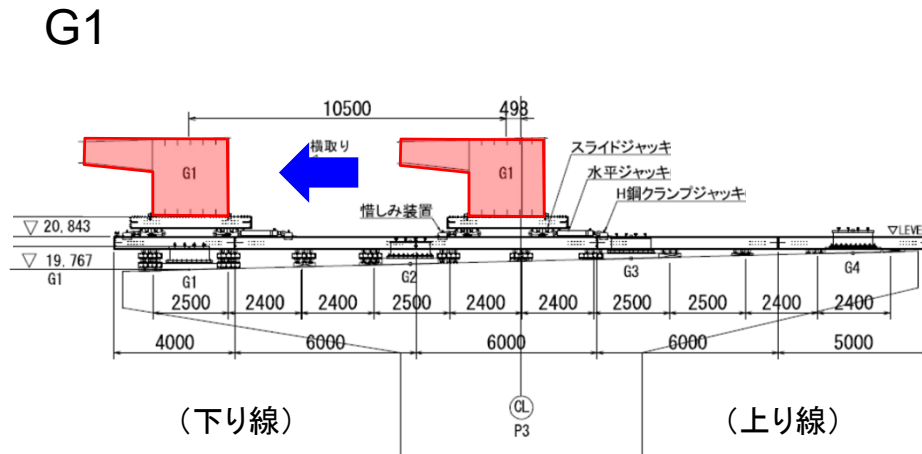
○送り出し架設



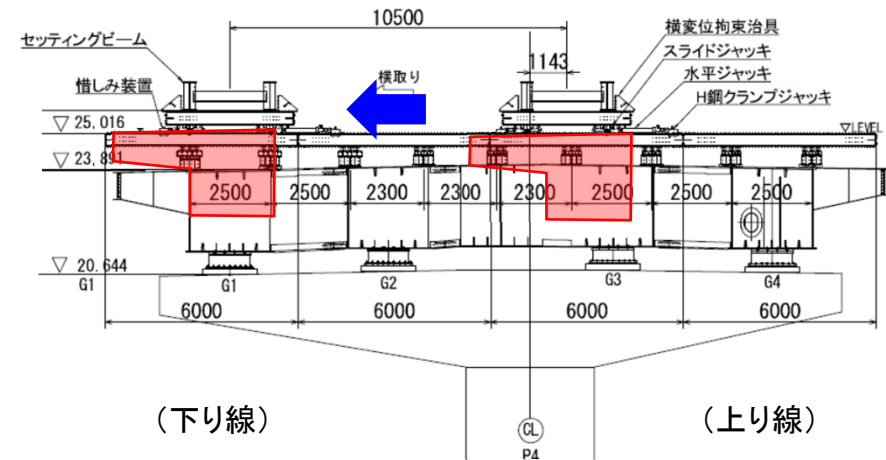
架設要領図②(P3～P4間横取り・降下)

OP3～P4間横取り

P3-横取り

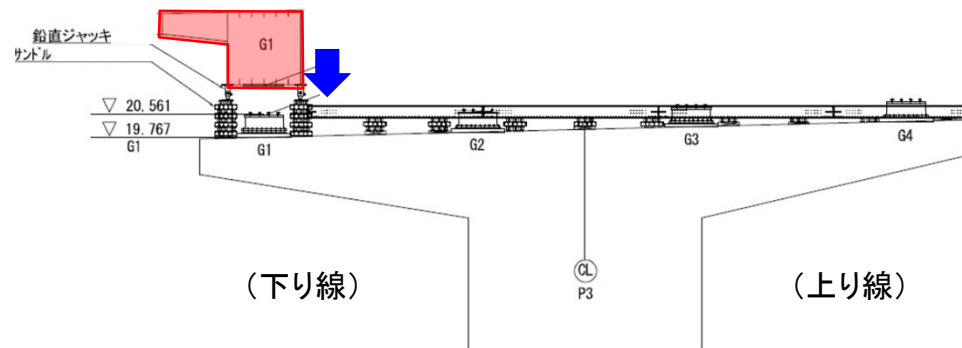


P4-横取り

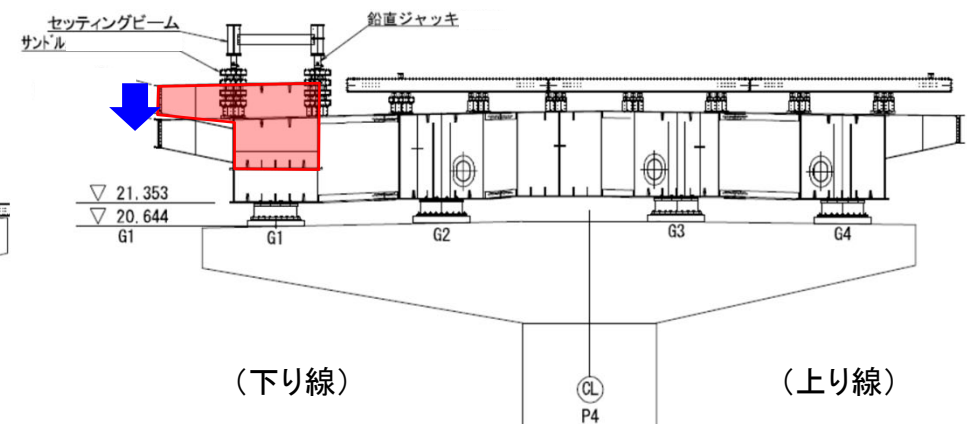


OP3～P4間降下

P3-降下



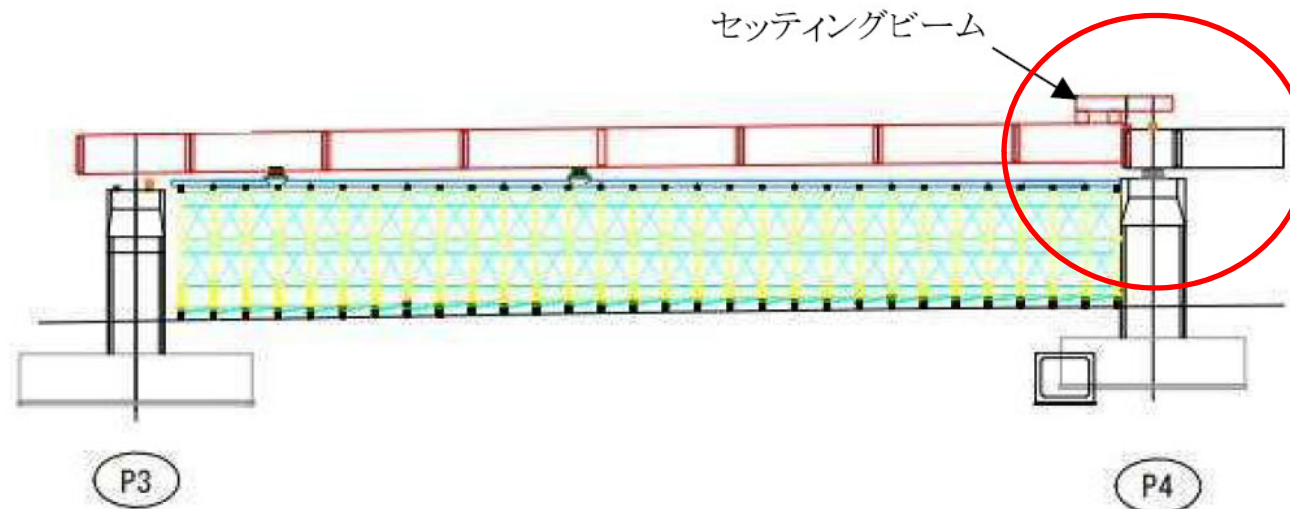
P4-降下



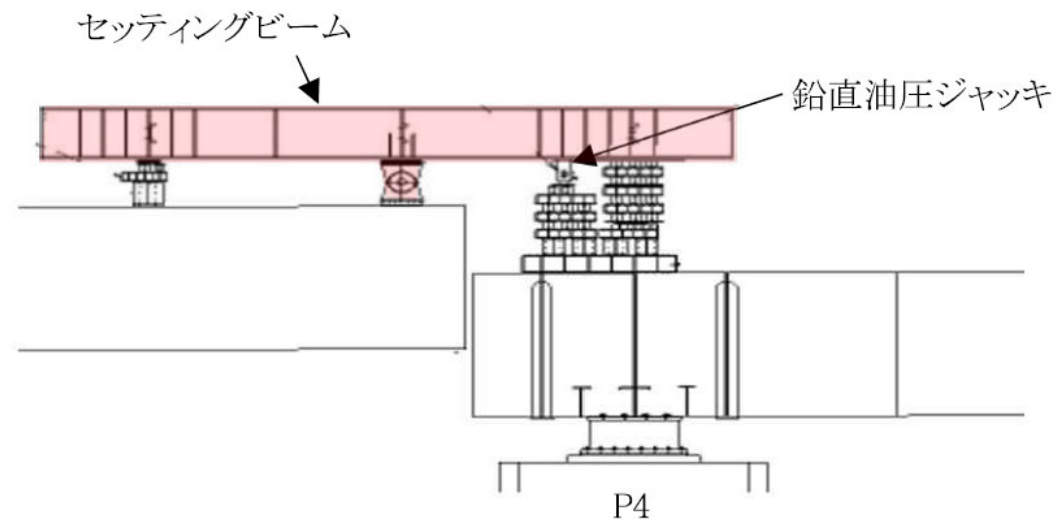
※単位の記載が無い数値は [mm]

架設要領図③(P4橋脚部降下作業)

○側面図



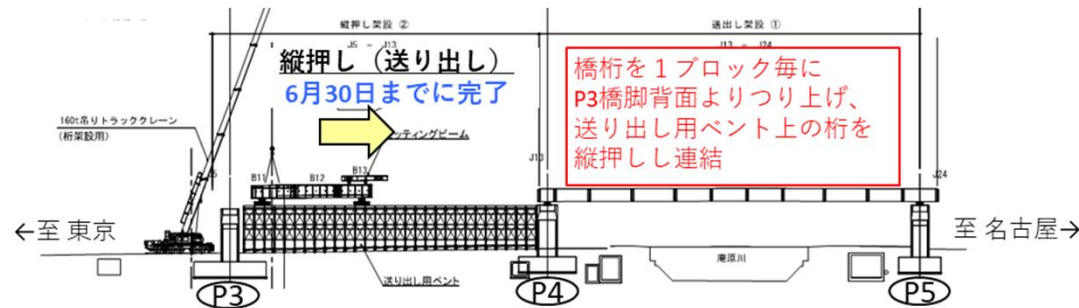
P3-P4間送り出し・横取り完了時



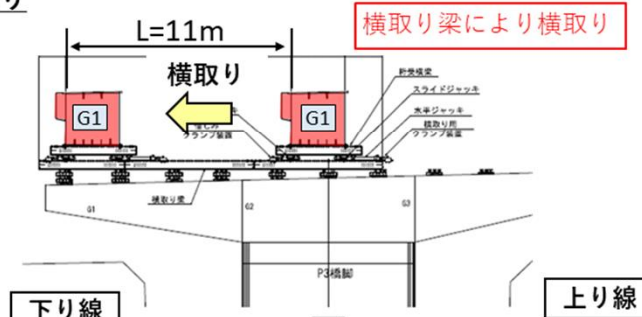
当日の作業内容・事故の概要

- P3～P4橋脚部G1主桁の横取り、降下作業を行う予定であった。
- P3～P4橋脚部G1主桁を橋脚の梁中央部からG1桁位置に横取り、降下作業を実施する途中で桁が落下した。

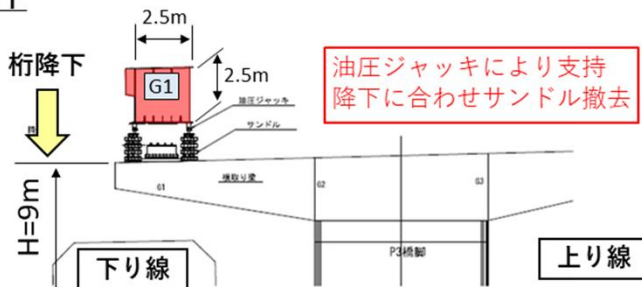
ステップ①P3～P4間の橋桁を縦押し



ステップ②横取り



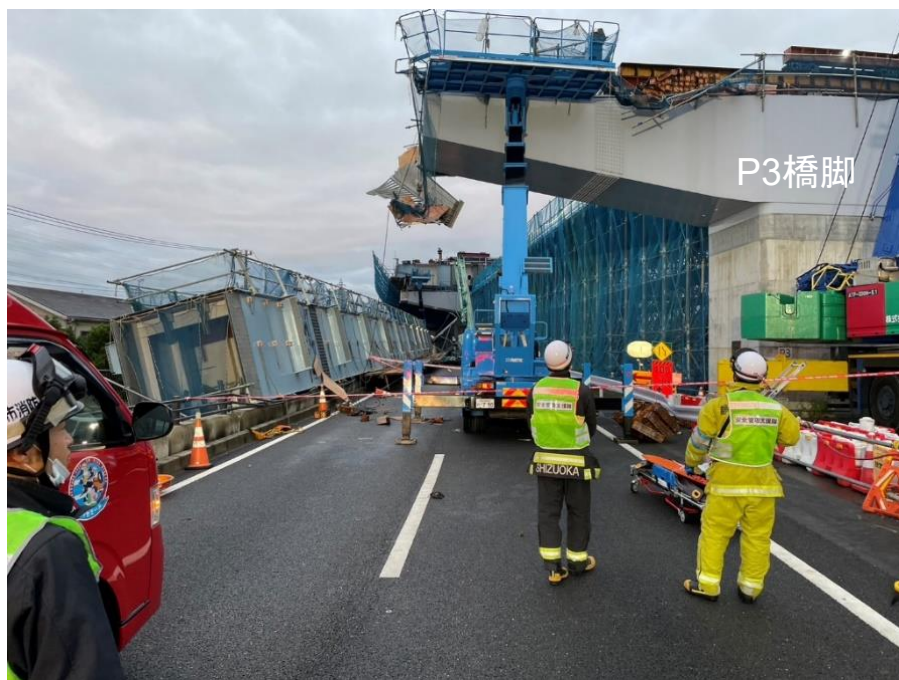
ステップ③桁降下



当日の作業

事故状況写真

○起点から終点を望む



○終点から起点を望む

